

柿 生 文 化

柿生郷土史料館 情報・研究誌
 住所：川崎市麻生区上麻生 6-40-1
 柿生中学校内
 電話：070-1503-6401/044-988-0004
<http://web-asao.jp/hp2/k-kyoudo>
 第 171 号

かわさきの
郷土史を読む 11

小島一也著『麻生郷土歴史年表』・『麻生の歴史を探る』(その 2)

川崎市教育委員会事務局文化財課学芸員 新井 悟

小島一也著『麻生の歴史を探る』

今回は、小島一也氏の『麻生の歴史を探る』をご紹介します。

前回、小島氏の経歴について、川崎市議会議員として多忙のなか、郷土史研究に専心されたことをご紹介します。郷土柿生を愛し、川崎の歴史と文化の研究、発信に多大な貢献をされましたが、2014(平成 26)年 12 月、87 歳でご逝去されました。生前に書き留められた郷土史の原稿は膨大なもので、『柿生文化』誌上で順次公開されたものをまとめたのが本書『麻生の歴史を探る』になります。

『麻生の歴史を探る』は、全 108 話、230 頁の大著です。万福寺から発見された 150～100 万年前のパラステゴゾン象の歯の化石(昭和 48 年 市重要天然記念物)から書き起こし、万福寺遺跡群や岡上丸山遺跡、下麻生古墳群などを紹介してから、奈良・平安時代の郷土の歴史が語りだされ、江戸時代末まで実に圧巻の内容です。

内容紹介

ここでは「第七話 橘樹郡」から最後の「第一〇八話 下綱騒動と志村弥五右衛門」までを概観します。大きくは、古代、中世、近世の 3 分野にわかれます。

古代は「第七話 橘樹郡」から「第二十四話 平将門」までの 18 話です。古代は、日本列島に律令にもとづく行政制度がしかれた時代ですから、その幕開けにあたる郡衙の成立から始まり、その律令社会の衰退を象徴する平将門の乱で締めくくる構成です。その中には、「王禅寺」(第十二～十四話)の成立の事や、岡上廃寺(第十五話)、東光院と行基の事(第十六話)など、現在でも未解明な部分の多い麻生区の古代寺院が語られています。

中世は「第二十五話 武士の世」から「第七十四話 三輪沢山城と七面山」までの 50 話です。ここでは多くのことに触れられています。小山田氏の事(第二十六話)、稲毛三郎重成の事(第二十七～二十九話)、亀井六郎の事(第三十～三十三話)などの武士の記事や、小沢城の事(第六十四～六十七話)、沢山城の事(第七十四話)などの山城の記事、麻生区の古道の事(第四十～四十六話)、寺院(第五十一～六十二話)の事などが網羅されています。武士の世の人と城、寺と道を中心に、地域社会の支配体制や伝承を取り扱っています。

近世は「第七十五話 徳川入府」から「第一〇八 下綱騒動と志村弥五右衛門」までの 34 話です。中世の末に「北条氏滅亡」(第七十三話)がおり、「徳川入府」(第七十五～七十九話)となります。石造物に関する事(第八十～八十六話)、「お稲荷様」(第八十六話)、「法塔様」(第九十八話)、「富士信仰」(第一〇〇話)、「大山講」(第一〇一話)、「蚕影山信仰」(第一〇二話)、「御嶽山信仰」(第一〇五話)、「榛名山信仰」(第一〇六話)、「岡上の山伏」(第九十九話)などの信仰に関する事が中心に据えられ、「黒川炭」(第九十話)、「禅寺丸柿誕生」(第一〇三話)などの名産に言及されています。

今回は、古代の部から「第二十二話 麻生 地名異聞 ～麻生は鉄にかかわる地名か～」をご紹介します。岐阜の JR 高山本線の駅に「上麻生」(かみあそう)、「下麻生」(しもあそう)という駅があるとのことで(ちなみに川崎市の「麻生」は「あさお」と読みます)、ここに小島氏が立ち寄った時の考察です。岐阜では「麻生」の地名は、鉄に由来すると考えられているようです。岐阜の郷土史家によると全国の麻と名の付く地名の近くには金属に由来する地名があるとのこと、川崎でいえば麻生区に「金程」があり、下麻生の隣の横浜には「鉄町」があるという具合です。小島氏はこの指摘には釈然としないものを感じられたようです。しかし、岐阜で得た資料の中に次のものがあることから、疑問が氷解します。「白鳳三(652)年、神事の氏族忌部勝麻呂、都築郡茅ヶ崎に杉山神社を建立、子孫末代に到り、麻の貢を奉りし故、麻生という。」と。忌部族の祖は天目一箇神(アマノマヒツノカミ)で、一つ目伝説です。これは鍛冶や鑄造にかかわる技術者が火の観察で片目を傷めることが多かったことから生まれた伝説だといわれています。この伝説によって、麻生の地名と、麻と、古代の製鉄が繋がったようです。麻生の製鉄の問題は、考古学的にはまだ証明されていませんが、小島氏が推測したつながりが、もしかすると古代にあったかもしれません。

参考文献

小島一也 1986『ふるさとのルーツを訪ねて』華沙里、1995『柿の実百話』柿の実幼稚園、
 2009『麻生郷土史年表』小島一也(自費出版)、2016『麻生の歴史を探る』小島一也(自費出版)

大地に刻まれた
歴史探勝 8

古墳時代の横穴墓に布帛を掛ける風習を探る

村田 文夫(日本考古学協会会員)

横穴墓とは、古墳時代後期(7世紀)以降に現れたお墓のこと。戦時中の防空壕のような構造です。これが意外と曲者で、わたくし達に興味深い史実を語りかけてくれています。

高津区新作の間際根横穴墓で始めて知った小さな吊り金具

高塚古墳でも、横穴墓でも、発掘調査中は副葬品や人骨の周辺に発掘者の視線は集中。これは至極あたり前であります。ところが昭和 59 年(1984)に発掘された間際根横穴墓(5号墓)からは、棺が置かれたと思われる前端(出入口部側)の天井部近くの左右に、フック状の金具が打ち込まれ、そこに幔幕まんまくのようなものが張られていたものと推測されました(写真1)。視線を足元に集中していたら、おそらくフック状の金具は見逃していたでしょうね。

それならば、と列島内で類例を探してみたら、ありましたよ。横穴墓・高塚古墳(横穴式石室)を問わず合わせると、北方から宮城県、福島県、群馬県、千葉県、静岡県、大阪府、京都府、奈良県、福岡県、熊本県など。うち奈良県の事例は、あの国特別史跡の藤ノ木古墳でした。隣国の韓国、中国からも発見されており、平成 14 年(2002)に韓国旅行した際は、調査中に慶尚南道の高塚古墳の石室側面に、布帛を吊るしたと思われる吊り金具が実見でき、感動しました。詳細は控えますが、著名な百濟・武寧王陵(525 年築造)を見学した際、特別?の配慮で石室内に入れて、壁面に埋め込まれた鉄釘を写真におさめました。でもこれ以上は書けませんからね。

もうすこし、特徴の中身を観察してみましょう。

1・遺物の名称は多様で、鉄製吊手鉤・鉄製鉤・懸垂釘・棒状鉄製品フック状金具など多様、報告者の苦労がわかります。わたしは「使途」と「素材」が簡明に集約した「吊り金具」を論文では使ってきました。

2・素材には、転用品と特注品があります。転用品には、鉄鏃の莖部を曲げて使用している事例が多く、特注品にはズバリ目的にあわせた大形品が多いようです。

3・吊り金具の打ち込む位置は、①左・右両壁に対称的に位置する、②片面の側壁に位置する、③天井部に位置する、などがあります。おそらく①の場合は、吊り留めた布帛で、墓室全体、あるいは木棺部を一旦視野から遮断したのでしょう、②の場合は、布帛に絵画などを描き、それを複数の吊り具に引っ掛けて壁面に垂らしたのでしょう、③の場合は、福島県双葉町の東西郷内 1 号横穴墓しか確認できていませんが、布帛を天蓋、天幕風に張り、死者を区画するための金具と推測されています。

派手な遺物類が揃う古墳時代の遺物のなかで、ひと際地味な存在の「吊り金具」、ですが、列島内だけでなく、中国・韓半島にも類例が渉猟できる存在に驚かされます。

想像力を膨らませてみましょう

早くからこの遺物に関心を寄せていた菅原文也先生は、『万葉集』に「大殿を振りさえ見れば白細布を飾りまつりて」とあること、また『随書』倭人伝の「死者は斂おさむるに(中略)、親賓、屍について歌舞し、妻子兄弟は白布を以て服を製す」ことに注目されています。現在では「喪服」は「黒色」、ですが、古代では麻織りの「白い」、無地を着用していました。

平成 11 年(1999)、群馬県高崎市所在の観音塚古墳(前方後円墳)から発見された特注品の「吊り金具」を拝見にうかがいました。遺物は展示中で、「槍鉤やりかんな」(鉤の原初タイプ)として展示されていました(写真2)。計測させていただいたところ、全長は 12.8 cm(中)、14.8 cm(右)、10.5 cm(左)でした。10 数 cm 以上が本来のサイズと推測できます。観音塚古墳の横穴式石室内も見学しましたが、大きな河原石積みで、10 数 cm 以上の吊り金具の長さは納得できました。類例が韓半島にもありますので、広い視野からの研究が必要ですね。もちろん「槍鉤」ではありませんよ。

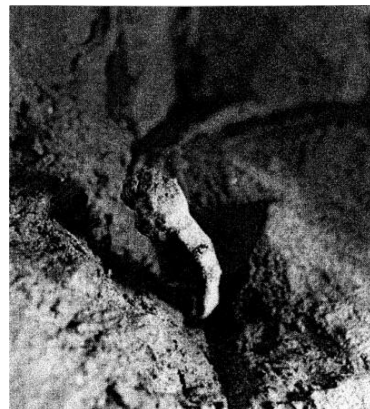


写真1 間際根横穴墓第 5 号墓の吊り金具

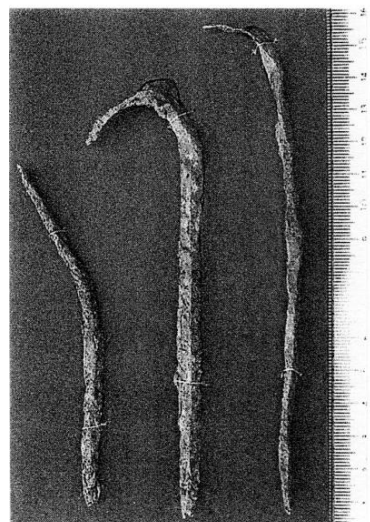


写真2 観音塚古墳の吊り金具

シリーズ

教育の歩み 第3部

日本の学校と教育(27)

小林 基男(柿生郷土史料館専門委員)

学級共同体の諸問題

「教育の歩み」を綴った今シリーズの第2部「学級の誕生」で記したように、「学級制」はイギリスのモントリアル・システムに端を発し、各国における初等教育の義務教育化の流れの中で、効率的な集団教育のシステムとして登場しました。そのため「学級制」は、各国それぞれの事情によって肉付けされていったのですが、どの国においても、児童を規律化することによって、教育効果を上げてゆく何らかの仕掛けを作っている共通点を持っていました。

この規律化は、どの国でも地域における子ども社会の存在に支えられていました。ルールの中身は違っても、ルールの存在自体に、子どもたちの抵抗はなかったのです。そのため20世紀の90年代から急速に進行した、子ども社会の解体と集団に属さなくても困らない生活の登場は、規律化を自明の理とする発想自体を拒否する一群の登場を意味しました。

規律化に従えば、学習成績の向上が保証されるかといえば、それは大変心もとないことは、どなたでもご存知の通りです。「学力とは何か」については、長い論争があつて未だに結論は出ていないのですが、「学力」には学習成績として評価し得る部分(いわゆる受験学力)と、本人が何を身に着けたかを重視し学びの質を問う部分(当然成績として評価することには馴染みません)とがあります。しかしながら受験競争の激しい現代では、学校の教師は子どもたちの学びの質に目配りするゆとりなど持てません。

従って教師たちも子どもたちも、何をどれだけ身に着けたかではなく、クラスや学年での序列の上昇だけを、学習の成果と受け止めてしまいがちです。成績の序列では上昇する生徒がいる一方、逆に下降する生徒もいることとなります。いやいやながらも規律化に従えば、必ず学習成績の向上が約束されるかというと、そんなことはありません。成績競争は必ず勝者と敗者を生み出します。成績の格差は、規律化の成果が不均等にしか配分されないことを示します。成果を十分に享受できない子どもたちにとって、規律化の成果は無きに等しいのです。ここに欲求不満の堆積が起こります。

学校という世界では、現実の教育の評価は、授業を担当した教師が行います。公立の義務教育校では、教育に要する経費は公費で賄われるため、忘れられがちになりますが、私立学校や高等学校・大学などでは、授業料などは児童・生徒・学生の家庭や本人が支払います。つまり生徒や学生は顧客であつて、教師は教育サービスの提供者です。ところが入塾・退塾が日常的に存在する塾業界では当たり前の、生徒や保護者による教師の評定が学校では行われないう逆立ちした現象が、ここでは見られるのです。それが

小・中学校の不登校児童・生徒数の全国調査結果

年度	不登校児童数・生徒数			
	小学校(児童数)		中学校(生徒数)	
2001(平成13)	26,511人	0.36%	112,221人	2.81%
2002(平成14)	25,869	0.36	105,383	2.73
2003(平成15)	24,077	0.33	102,149	2.73
2004(平成16)	23,318	0.32	100,040	2.76
2005(平成17)	22,709	0.32	95,578	2.75
2006(平成18)	23,825	0.33	103,069	2.86
2007(平成19)	23,927	0.34	105,328	2.91
2008(平成20)	22,652	0.32	104,153	2.89
2009(平成21)	22,327	0.32	100,105	2.77
2010(平成22)	22,463	0.32	97,428	2.73
2011(平成23)	22,622	0.33	94,836	2.64
2012(平成24)	21,243	0.31	91,446	2.56
2013(平成25)	24,175	0.36	95,442	2.69
2014(平成26)	25,864	0.39	97,033	2.76
2015(平成27)	27,583	0.42	98,408	2.83
2016(平成28)	30,448	0.47	103,235	3.01
2017(平成29)	35,032	0.54	108,999	3.25
2018(平成30)	44,841	0.70	119,687	3.65
2019(令和元)	53,350	0.83	127,922	3.94
2020(令和2)	63,350	1.00	132,777	4.09

文部科学省の『年度別教育資料』から21世紀部分を掲示
 (%は全児童・生徒数に占める比率。少子化が進行する中で増え続けている実態を窺い知ることができる。)

当然のこととして何の疑問もなく定着しています。規律を守らなかつたり、無視したりする子どもたちの出現は、需要と供給が逆立ちしている学校秩序へのアンチテーゼでもあつたのです。

確かに試験は、自分の授業を子どもたちがどの程度理解したかを知るためにも、欠かせません。ただし、忘れてならないのは、テストは教師自身が、ちゃんと子どもたちが理解できるような授業をしているか、受け持った子どもたちにきちんと学習内容を理解させることができているかを知るための、教師の教授能力を図るものでもあることです。この重要な点があまり意識されていない現実があります。皆さんも、内容のよくわかる聞きやすい授業とまるで内容のわからない苦痛だけの授業の双方を体験されているのではないのでしょうか。

苦痛を伴う自己抑制を要求するからには、それに見合う成果の提供が欠かせません。しかし現代の学校は、いつの間にかその要件を欠いた状態に追い込まれてしまつたのです。ただしそれは学校の質が短期間に急激に劣化したことを意味しません。社会環境の変化が急激で、子どもたちと家庭の規律意識が急速に変化したこと、その変化への対応に戸惑っている結果に他ならないのです。(続く)

令和4年度 柿生郷土史料館友の会 会員紹介 (7月15日現在、順不同・敬称略)

本年度の「友の会」法人会員の皆様ならびに個人会員数をご紹介します。当館の活動を支えていただき、深く感謝いたします。当館は地域の皆様のご支援とご協力により運営しております。

地 区	法 人 会 員		個人	
上麻生	月読神社 (医)総生会麻生病院 (株)ティエムコーポレーション (株)美容室ルシル (有)鴨志田産業(まきば) (学)川崎青葉幼稚園 セレサ川崎柿生支店 川崎信用金庫柿生支店	(株)飛島典礼 (株)富士建材 プライマリー(株) (福)柿生アルナ園 (有)柿生恒産 リック設計企画(有) (株)スズユウ商事	誠和産業(株) (株)北島工務店 柿の実幼稚園 (有)山義産業 小料理わかば 喫茶ベル とん鈴	16名
下麻生	麻生不動産	サイトー農芸	11	
王禅寺	王禅寺	(株)エムケープリント	1	
王禅寺東	琴平神社 (株)タカミ	(株)朝日ホーム (有)青戸建材	17	
王禅寺西	(有)アクティブ		7	
白山			1	
早野			2	
虹ヶ丘			1	
岡上	(有)ステップオン		14	
片平	長瀬土地家屋調査事務所	(株)Slow Farm	3	
五力田			3	
白鳥	(有)ハウユウ			
栗木	(学)桐光学園		6	
栗木台			2	
黒川	(有)ユーコーポレーション		3	
はるひ野				
万福寺	(有)白百合商事			
麻生区外			16	

柿生郷土史料館催物案内 【参加自由、入場無料】

◎開館日:8月6・20・27日(毎土曜日) 9月11・18・25日(毎日曜日)

◎開館時間:午前10時～午後3時(緊急事態宣言等発令の場合は休館となります。セミナーも再々延期です。)

サマースクール

ステンドグラスのモザイクを作ろう

一緒にステンドグラスを作ってみませんか。

自由な発想で素敵なオリジナル作品が作れます。

日 時 8月20日(土) 午後1時～3時

会 場 柿生中学校 金工・木工室

講 師 栗山 美咲先生(王禅寺在住)

対 象 小学校3年生～中学校3年生 先着20名(コロナ禍のため密にならない人数に限りました)

参 加 費 1名につき500円(材料費等の実費 当日徴収)

持 ち 物 上履き、飲み物(ペットボトル可)、軍手、雑巾、エプロン、マスク

申し込み 氏名、学年、学校名、連絡先電話番号とメールアドレスを記載して、下記まで
mandoran17890804@ezweb.ne.jp または marat17930713@mail.fcservice.jp

締め切り 7月30日(土)

問い合わせ 柿生郷土史料館企画担当 小林基男 080-5513-5154

